

熊日出版文化賞 受賞作決まる

第42回熊日出版文化賞の本選考が24日、熊本市中央区の熊日倶楽部であり、受賞作3点を決めた。自費出版物を対象にしたマイブック賞は「該当作なし」だった。
【1面参照】

熊日出版文化賞の候補作について意見を交わす選考委員たち。24日、熊本市中央区の熊日倶楽部。(池田祐介)



益城町震災記録誌

残夢童女

くまもとの戦争遺産

今しか残せない資料

姿浮かぶ珠玉の文章

減災の良い教科書に

「くまもとの戦争遺産」と戦争遺跡・文化遺産産 戦後75年 平和を ネットワーク」代表の 祈って」は、「くまも 高谷和生さん(66) 玉

各市の長年にわたる 調査の集大成。「各遺 産の価値を集約してお り、今しか残せない資 料。過ちを繰り返さな いたためにも重要」と高 評された。

「平成28年熊本地震 益城町震災記録誌」 は、益城町が地震での 避難所開設などの対応 や課題を後世に伝えよ うとまとめた。「災害 減災に向けた良い教科 書になる。熊本地震の 中心被災地として頑張

「残夢童女」は20 18年に亡くなった石 牟礼道子さんについ

「魚住有佳、園田琢磨」 本選考の委員は次の 通り(敬称略)。幸田 亮一(熊本学園大商学 部教授)高濱州賀子(美 術史家)富田紘一(熊 本城頭彰会理事)松本 良介(グラフィックデ ザイナー)岡本智伸(東 海大農学部教授)木下 優子(県立図書館参事) 毛利聖一(熊日編集局 長)

受賞者コメント

平和の大切さ伝えたい

「くまもとの戦争遺産」の高谷和生さん 大変光栄。体験者の証言だけでは戦争の実相を伝えるのが難しくなっており、戦争遺跡の記録をきちんと残したかった。特に若い世代に平和の大切さを伝えていきたい。

人物像や作品明らかに

「残夢童女」の石牟礼道子資料保存会理事長・松下純一郎さん 石牟礼さんの人物像や作品を、作家や詩人や身近な人たちによって明らかにしようとしたのが本書です。受賞を糧に今後も資料整理などに取り組みます。

日頃の備えに役立てて

「益城町震災記録誌」を発行した同町総務課の福住聡志さん 大変ありがたい。災害対応でできなかったことも含め、つまびらかに記録した。地震から5年、多くの人に読んでもらい日頃の備えに役立ててほしい。

っている上、内容の水 準も高い」と評価され た。

熊日出版文化賞は、 県内の個人・団体の優 れた著作を毎年顕彰。 今回は2020年に刊 行された約100点を 対象に、1月の社内選 考で候補作15点を選ん

だ。

(魚住有佳、園田琢磨)

本選考の委員は次の

通り(敬称略)。幸田

亮一(熊本学園大商学

部教授)高濱州賀子(美

術史家)富田紘一(熊

本城頭彰会理事)松本

良介(グラフィックデ

ザイナー)岡本智伸(東

海大農学部教授)木下

優子(県立図書館参事)

毛利聖一(熊日編集局

長)